

問1 7世紀初頭、聖徳太子らが進めた国家づくりにおいて、大陸から伝わった仏教が果たした役割とその文化的な特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)

1. 大宝律令の制定により全国が統治され、国家の安泰を願って東大寺に大仏が造られた。
2. 遣唐使が廃止されたことにより、日本の気候や生活に合わせた独自の貴族文化が発達した。
3. 遣隋使の派遣などを通じて大陸の優れた技術や思想が伝わり、法隆寺などの本格的な寺院が建立された。
4. 稲作の技術とともに青銅器や鉄器が伝わり、卑弥呼が中国の魏から金印を授かった。

問2 日本の財政状況について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。「日本の一般会計歳出において、(X)が占める割合は、1990年度から2019年度にかけて大幅に増加した。これは、日本の人口構成において(Y)が進行したことが主な背景にある。」 (2022年 佐賀県公立入試 類似)

1. X：社会保障関係費、Y：情報化
2. X：公共事業費、Y：過疎化
3. X：国債費、Y：少子高齢化
4. X：社会保障関係費、Y：少子高齢化

問3 北緯50度付近に位置するロンドンは、より低緯度の札幌が冬に氷点下となるのと対照的に、冬の気温が比較的高いという特徴があります。この気候の仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)

1. 大陸内部から吹き出す乾燥した季節風が、高い山脈を越えて温まって吹き降りるため
2. 夏に雨が多く降ることで、地表の熱が冬まで保持されやすいという性質があるため
3. 低緯度側から流れてくる暖流の影響と、海上の暖かい空気を運ぶ偏西風の影響によるもの
4. 寒流が周辺海域を流れていることで、年間を通じて気温の変化が抑えられているため

問4 第一次世界大戦による「大戦景気」の影響で、日本は国際的な経済的地位をどのように変化させましたか。当時の背景とあわせて、最も適切なものを選んでください。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)

1. 重工業製品の輸入が困難になったため、鎖国に近い経済体制へと移行した
2. 多額の借金がある債務国から、他国に資金を貸し出す債権国へと転じた
3. 輸出が伸び悩んだため、政府が外国から多額の借金を行う債務国となった
4. 国内の物資不足により、食料品の輸出を全面的に禁止する措置をとった

問5 佐賀県の吉野ヶ里遺跡に代表される弥生時代の文化や社会状況について述べた文として、背景や当時の国際関係を含めて説明したものとして正しいものを選んでください。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 百済から仏教が伝来し、聖徳太子が大陸の進んだ制度を取り入れるために十七条の憲法を制定した。
2. 稲作が普及して定住が進んだが、大陸との交流は途絶えており、日本独自の国風文化が形成された。
3. 巨大な前方後円墳が各地に築かれ、ヤマト政権が近畿地方を中心に統一国家としての基盤を固めた。
4. 有柄細形銅剣などの青銅器が大陸から伝わり、女王卑弥呼が魏へ使者を送るなど大陸の王朝との交流を通じて自らの権威を高めた。

問6 日本の工業製品であるIC(集積回路)の輸送方法について述べた文として、その理由と背景が最も適切に説明されているものを選んでください。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)

1. かつては鉄道輸送が主流であったが、排気ガスによる公害を防ぐために航空輸送へ転換された。
2. 製品が軽くて高価であり、輸送時間を短縮する利点が大きいため、航空輸送が利用される。
3. 全国に広がる高速道路網を利用し、戸別配送が可能な自動車輸送が主力となっている。
4. 製品が重く大量の輸送が必要なため、一度に多くの荷物を運べる船舶輸送が利用される。

問7 日本の水産業では、減少した水産資源を回復させるために「つくり育てる漁業」が推進されています。その手法の一つとして、人工的にふ化させた稚魚を外敵の少ない環境で一定の大きさまで育て、自然の海や川へ放流したあと、成長したものを漁獲する仕組みを何と呼びますか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 養殖漁業
2. 遠洋漁業
3. 栽培漁業
4. 資源管理型漁業

問8 都市部での浸水被害の要因をまとめた資料において、被害を大きくする地表の状態と雨水の動きについて説明した文として正しいものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)

1. ダムが多すぎるため、雨水が地下へ流れる経路が遮断されている。
2. 森林が多すぎるため、雨水が地表付近に留まりやすい。
3. 砂地が多いため、雨水とともに大量の土砂が河川に流れ込みやすい。
4. 地面がアスファルトなどで覆われているため、雨水が染み込みにくい。

問9 東北地方の太平洋側では、6月から8月にかけて、太平洋上の北東方向から冷たく湿った風が陸地に向かって吹き込むことがあります。この風の影響で夏の気温が上がらず、米などの農作物の成長が妨げられる現象を何と呼びますか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)

1. 季節風(モンスーン)
2. やませ
3. からっ風
4. フェーン現象

問10 日本の財政状況について、歳入のうち税金などでまかなえない不足分を「国債」を発行することで補っている現状があります。この国債の発行に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)

1. 国が民間企業に対して出資を行い、経営権を得るために発行される。
2. 都道府県や市区町村が、道路や公園などの公共施設を整備する資金を得るために独自に発行する。
3. 国民から強制的に徴収されるものであり、将来的に返済する必要のない資金である。
4. 国の歳出が歳入を上回った際に、その差額を補うための借金として発行される。

問11 日本の河川の特徴と、人々の暮らしとの関わりについて述べた文として、地形的な背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)

1. 全国的に降水量が極端に少ないため、河川水よりも各地に点在するため池を主な水源として、大規模な都市の生活用水をすべてまかなっている。
2. 流域面積が非常に広いため、季節による流量の変化が小さく、ダムなどに頼らずとも年間を通じて安定した水利用が可能である。
3. 国土が全体的に平坦で河川の勾配が緩やかなため、外洋から大型船が内陸まで航行できる利点を活かし、ダムを造らず水運を重視している。
4. 山地が海岸近くまで迫っている地形の影響で河川の勾配が急であり、雨水が短時間で流出するため、水資源の有効活用のためにダムが必要となる。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 遣隋使の派遣などを通じて大陸の優れた技術や思想が伝わり、法隆寺などの本格的な寺院が建立された。	飛鳥時代には、小野妹子ら遣隋使が派遣され、大陸の高度な文明が積極的に導入されました。これに伴い、寺院建築の技術や彫刻の技法ももたらされ、それまで日本になかった本格的な仏教文化が飛鳥の地を中心に花開きました。他の選択肢にある国風文化は平安時代、大仏建立は奈良時代（天平文化）、卑弥呼は弥生時代の出来事です。
問2	答え 4 X：社会保障関係費、Y：少子高齢化	日本の一般会計歳出の推移を見ると、社会保障関係費は高齢者人口の増加に比例して増え続けており、1990年度の約16%から2019年度には約33%へと、予算の約3分の1を占めるまでになりました。この要因である「少子高齢化」は、子供の数が減る少子化と、65歳以上の高齢者の割合が高まる高齢化が同時に進む現象を指し、日本の社会経済や財政に大きな影響を与えています。
問3	答え 3 低緯度側から流れてくる暖流の影響と、海上の暖かい空気を運ぶ偏西風の影響によるもの	ヨーロッパ北西部の気候は、北大西洋海流という暖流と、その上空を吹く偏西風の相互作用によって形成されています。暖流は低緯度から熱を運ぶ役割を果たし、偏西風はその熱を大陸へと運び込みます。一方、日本などの東アジアは冬に大陸からの冷たい季節風の影響を強く受けるため、ヨーロッパ北西部よりも低緯度であっても冬の寒さが厳しくなります。
問4	答え 2 多額の借金がある債務国から、他国に資金を貸し出す債権国へと転じた	第一次世界大戦中に輸出額が激増したことで、日本には多額の外貨が流入しました。これにより、明治以来続いていた外国への借金（債務）を返済し、逆に外国へ資金を貸し付ける「債権国」へと劇的な変化を遂げました。この時期、造船業や製鉄業などの重化学工業も大きく発展しました。
問5	答え 4 有柄細形銅剣などの青銅器が大陸から伝わり、女王卑弥呼が魏へ使者を送るなど大陸の王朝との交流を通じて自らの権威を高めた。	吉野ヶ里遺跡は、大規模な環濠集落や有柄細形銅剣などの出土品から、弥生時代の社会構造や大陸とのつながりを示す重要な遺跡です。この時代、稲作の普及により余剰生産物が生まれ、貧富の差や土地を巡る争いが発生しました。その中で誕生した邪馬台国の卑弥呼は、中国の魏と外交を行うことで、大陸の進んだ文化や宝物、そして皇帝からの公認という「権威」を獲得し、国内の小国をまとめようとしていました。古墳の造営や仏教の伝来は後の時代の出来事です。
問6	答え 2 製品が軽くて高価であり、輸送時間を短縮する利点が大きいため、航空輸送が利用される。	輸送機関の選択には、運ぶものの重さ、価格、輸送速度が大きく関わります。IC（集積回路）は小型・軽量でありながら付加価値が高いため、多少運賃が高くても、輸送時間を大幅に短縮できる航空輸送を利用するメリットが上回ります。このような「軽・薄・短・小」の製品は、空港周辺に立地する工場で生産されることが多いのも特徴です。
問7	答え 3 栽培漁業	卵から稚魚になるまでの生存率が低い時期を人間の管理下で育てることで、水産資源の維持・増大を図る仕組みです。出荷まで網やいけすの中で飼育し続ける「養殖漁業」とは、最終的に自然の海や川へ「放流」する点で区別されます。これらは合わせて「つくり育てる漁業」と呼ばれます。
問8	答え 4 地面がアスファルトなどで覆われているため、雨水が染み込みにくい。	都市型水害のメカニズムは、地表面の性質が変化したことにあります。本来、土の地面であれば雨水は地下へと浸透していきますが、都市部ではコンクリートやアスファルトによって地面が蓋をされたような状態（不透水域の拡大）になっています。このため、行き場を失った雨水が地表を流れ、一気に低い場所や排水施設に押し寄せることになります。
問9	答え 2 やませ	オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った空気が、北東風として東北地方の太平洋側に流れ込む現象を指します。特に初夏の稲の成長期に気温が低下することで、作物の不作を招く「冷害」の主な原因となります。
問10	答え 4 国の歳出が歳入を上回った際に、その差額を補うための借金として発行される。	国の予算（一般会計歳入予算）において、税収や印紙収入などでは支出（歳出）をすべてまかなえない場合、その不足分を補うために「公債金」として国債を発行します。これは国による将来への借金であり、利息をつけて返済する必要があるため、将来世代の負担になるという課題も指摘されています。地方自治体が行う借金は地方債、企業が行う資金調達は株式や社債と呼ばれます。
問11	答え 4 山地が海岸近くまで迫っている地形の影響で河川の勾配が急であり、雨水が短時間で流出するため、水資源の有効活用のためにダムが必要となる。	日本の河川は、中央の山岳地帯から狭い平野を経て海に注ぐため、世界的に見ても非常に「急流」です。この地形的条件では、大雨が降ればすぐに洪水が発生しやすく、逆に雨が降らなければすぐに水不足に陥るという不安定さがあります。そこで、限られた「水資源」を有効に使い、発電や用水供給、流量調節を行うために、多くの河川で「ダム」が建設されてきました。選択肢にある「ため池」は主に灌漑（農業）用として古くから作られたもので、河川全体の流量調節とは役割が異なります。